

# リュウキュウアセビ

ぜつめつ きく  
絶滅危惧IA

学名 *Pieris koidzumiana*

科名 ツツジ

別名

区分 まちかど しょくぶつ  
街角の植物

分布 あま み おおしま おきなわほんとうほくぶ  
奄美大島、沖縄本島北部

葉の形 さかさ<sup>ひしんけい</sup>被針形

葉の縁 きよし 鋸歯

葉の先 どんけい 鈍形

葉の種類 たんよう 単葉

葉の付方 ごせい 互生

葉の基部 くさび<sup>がた</sup>形

実の種類 さくか 蒴果

花・萼色 しろいろ 白色



かわぎし いわぼ は たか じょうりよくていぼく  
河岸の岩場に生え、高さ 1.5-3m の常緑低木です。

は ひしんけい えださき あつ ごせい ようしん じょう  
葉はさかさ被針形で枝先に集まって互生し、葉身の上  
ぶ ぶん 1 ほどには鈍鋸歯があります。2月から4月ご  
ろ、えださき ようえき えんすいかしよ ちい しろ つぼがた  
枝先の葉腋から円錐花序をだし、小さな白い壺形の  
はな さ  
花を咲かせます。

せつ  
説  
めい  
明